

巻 頭 言

会長就任にあたって

愛知県小児科医会会長
津村 治男

2020年（令和2年）1月19日に開催されました令和元年度第5回愛知県小児科医会定例理事会におきまして次期代表理事に選出していただき、前会長の岡田純一先生の後を受け会長に就任することになりました。大変光栄なことです。いたらぬ点多々あると思いますが、幸いにも誠実で頼りになる副会長、役員の方々に恵まれておりますので、皆さまのご支援ご指導のもとに精一杯会務を遂行していく所存です。

新役員体制は本来なら2年前の第60回総会において改正された新しい会則に則り5月31日開催予定でした第62回定時総会において協議の上決定していただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で定時総会が開催できなくなりました。やむを得ず次善の策として定時総会で諮る予定でした協議事項を全ての会員へ郵送したうえで検討していただき、それらの賛否をFAXによる回答を持って総会の決議に代えさせていただくという方法がとられました。その結果、会則に規定されていない事態ではありますが、とりあえず新体制を発足できることとなりました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

さて、当小児科医会は昨年10月25日に設立60周年を迎えました。現在の会員数395名（2020年3月末現在）になります。これまで多くの先輩方の努力により様々な活動が継続され、最新の知識、幅広い知識の習得と良質な医療を提供するための学術講演会（例会）は300回を数えます。社会情勢・社会制度の変化で小児を取り巻く環境も大きく変化してきており、これからも私たちは小児科医に対する社会のニーズに答えるための活動を続けなくてはなりません。

2年前に岡田前会長が中心となり、会則を時代に即したものにするため細部にわたり改正が行なわれました。本会の目的の項にも検討が加えられ、会則第3条には「本会は、愛知県における小児の保健・医療の充実を図るとともに、会員相互の交流及び連

携を促進し、もって小児の健康及び健全な成育に寄与することを目的とする」と記載されました。

私たちは正にこの目的に向けて実践していくこととなります。また、日本小児科医会が中心となって長いこと成立を目指していた成育基本法が2018年（平成30年）12月13日に公布され、2019年（令和元年）12月1日から施行されております。成育基本法とは略称であって正式名称は「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律」です。内容はその名の通りです。この法律に基づいた成育医療等協議会が今年1月に設置されました。そこではこれからの様々な施策、すなわち医療、保健、福祉、教育にかかわる施策が検討されます。その実施に当たっては私たち小児科医の役割が大変重要となってきます。行政との密接な連携の必要性は今以上に高まるものと推察されます。それに際しては先生方のご協力が是非とも必要となりますのでよろしくお願い致します。

いま世界は思いもよらなかった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミック状態にあり、世界中で多数の感染者および死亡例が報告されています。日本でも感染者の急増がみられ今年4月には全国に緊急事態宣言がなされました。愛知県では3月中旬から幼稚園、学校は休園、休校となり入学式、始業式がかわるじやないかどうかわからない、その後も休園、休校が続きました。社会活動、学会活動も大幅に停滞し、密閉、密集、密接の3密を避け不要不急の外出を控えるという必死のスローガンのもと人々の日常生活は一変しました。

新型コロナウイルスの小児の感染者は、幸い今のところは多くなく重症度も低いとされていますが、外出の自粛要請の下、この異常な環境の中での暮らしを強いられ、長期間にわたって遊びや運動も制限されている子どもたちのストレスが今後どのような形で現れてくるのか健康面が心配されます。

当医会としての今後の課題として、災害時における小児救急医療、また、災害時の対応を含めた小児在宅医療、学校保健ならびに思春期医療、虐待問題等が挙げられますが、この新型コロナウイルス禍の影響はこれらに大きく関わってきます。

この度新しく地区推薦で理事に就任された11名の先生に、事前に職務分掌に際し希望する委員会を第3希望までお聞きしましたところ、小児救急委員会あるいは小児保健委員会を第1志望または第2志望として挙げられた先生がそれぞれ7名ずつおられ、他の委員会に比し圧倒的に多い数でした。これから

の活躍を大いに期待致します。

私としましても微力ではありますが小児の健康と成育に関わる環境の改善ならびに会員の先生方の活動に少しでも寄与できるように前会長の実務を引き継ぎ、会員の先生方への種々の情報提供を続け、当医会を多くの会員の先生が積極的に会務に参加できる組織として存続するようにしたいと考えております。どうか指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

最後に、この新型コロナウイルス感染のパンデミックが一刻も早く収束し、人類の皆が正常な日常生活に戻れる日が来ることを切に願っております。